



# 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社  
 コード番号 3121 URL <http://www.mbkworld.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 一木 茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長 (氏名) 高崎 正年  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-5224-4900

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	1,446	6.2	64		11		293	
30年3月期第3四半期	1,361	27.5	65		118		100	

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 306百万円 ( %) 30年3月期第3四半期 98百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	10.54	
30年3月期第3四半期	3.69	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	10,756	3,519	32.6	125.81
30年3月期	9,935	3,240	32.5	115.81

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 3,505百万円 30年3月期 3,227百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		1.00	1.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	41.4	420		270		500		17.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	27,881,656 株	30年3月期	27,881,656 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	14,232 株	30年3月期	13,934 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	27,867,495 株	30年3月期3Q	27,195,487 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」）の我が国経済は、緩やかな回復基調が続いております。先行きについても、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、アメリカの今後の政策の動向、中国をはじめとするアジア新興国等の経済の先行きなどの海外経済要因や、金融市場の変動による影響に留意する必要があります。

当社グループの主要な事業領域についてみると、国内外の金融・不動産市場及び国内のホテル・レジャー市場は、海外経済の不確実性の影響を受けつつも、概ね堅調に推移しているといえます。

このような経済状況のもと、当第3四半期の当社グループは、新規賃貸用不動産の取得、オペレーション事業の各拠点における収益向上のためのさまざまな取り組みを積極的に進め、収益力の向上とさらなる安定化をはかってまいりました。

以上の結果、当第3四半期の当社グループの業績は、収益用不動産の増加、国内事業に対する投資回収の収益により、売上高は前年同期に対して6.2%増加し、1,446百万円となりました。各段階利益は、営業利益64百万円（前年同期は営業損失65百万円）、経常損失11百万円（前年同期は経常損失118百万円）となり、更に、当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより投資有価証券売却益315百万円を計上した結果、前年同期の大幅な損失から好転し、親会社株主に帰属する四半期純利益293百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失100百万円）となりました。

報告セグメントごとの業績及び直近の状況は、次の通りであります。

#### (マーチャント・バンキング事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、主に国内外の企業及び不動産向けの投資事業を営んでおります。

当第3四半期は、前年同期に対し、好調な不動産市場を捉えた収益用不動産を4物件1,004百万円を買収するとともに、今年度8月に行った産業廃棄物処理事業に対する投資が収益に貢献した結果、売上高592百万円（前年同期比69.4%増）、セグメント利益181百万円（前年同期比844.0%増）となりました。

このような事業環境のもと、当社グループは、引き続き、国内外の将来性のある企業や事業、特に、再生医療・ブロックチェーン・AIの3分野を重点的に投資を努めることで収益の強化を図ってまいります。

#### (オペレーション事業)

当社グループは、当社、株式会社ホテルシステム二十一（連結子会社）及び株式会社ケンテン（連結子会社）において、宿泊施設、ボウリング場、インターネットカフェ店舗及び服飾雑貨店の運営、並びに給食業務の受託などの多様な運営をすることでより専門性を蓄積する安定的な収益が確保できる事業を行っております。

当第3四半期は、愛媛大学医学部付属病院での給食事業が伸長するとともに、インターネットカフェ店舗が堅調な運営を推移した結果、売上高は854百万円となり、また、昨年度6月に営業終了となった「ホテルJALシティ松山」を除いた前年同期の売上高844百万円に対しましても1.2%増加いたしました。

ただ、前年同期の売上高1,012百万円に対しましては、当社グループの主力施設となる「加古川プラザホテル」の大規模改修工事に伴う期間休業、消費者の根強い節約志向の持続や人材確保による人件費の高騰など厳しい環境の中で服飾雑貨店の運営をしている株式会社ケンテンの売上低迷の影響により、15.6%減少いたしました。また、セグメント利益に関しても、10百万円と、前年同期に対し62.3%減少いたしました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産残高は10,756百万円となり、前連結会計年度末に比べ820百万円増加いたしました。投資有価証券の減少168百万円、有形固定資産の増加895百万円が主な変動要因であります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債残高は7,237百万円となり、前連結会計年度末に比べ541百万円増加いたしました。長期借入金（1年内返済予定のものを含む）の増加627百万円、短期借入金の減少66百万円が主な変動要因であります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産残高は3,519百万円で、前連結会計年度末に比べ279百万円増加いたしました。配当金支払いによる資本剰余金の減少27百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益293百万円が主な変動要因であります。

この結果、自己資本比率は32.6%（前連結会計年度末は32.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年11月9日付「当上半期の業績予想と実績との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」に公表されている連結業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	502,435	722,507
受取手形及び売掛金	76,867	88,885
営業投資有価証券	291,111	304,154
販売用不動産	50,000	50,000
商品及び製品	1,516	1,708
原材料及び貯蔵品	8,711	11,430
その他	245,020	62,540
流動資産合計	1,175,661	1,241,227
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,658,172	5,012,202
土地	3,551,329	4,082,588
その他(純額)	53,213	63,608
減損損失累計額	△112,436	△112,383
有形固定資産合計	8,150,279	9,046,016
無形固定資産		
のれん	192,090	210,177
その他	2,876	2,808
無形固定資産合計	194,966	212,985
投資その他の資産		
投資有価証券	234,264	66,195
敷金及び保証金	90,281	103,781
その他	92,332	88,309
貸倒引当金	△1,920	△1,920
投資その他の資産合計	414,957	256,366
固定資産合計	8,760,203	9,515,367
資産合計	9,935,865	10,756,595

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,054	46,217
短期借入金	100,000	33,280
1年内返済予定の長期借入金	294,544	305,124
未払費用	73,892	77,853
賞与引当金	—	3,900
役員賞与引当金	—	390
株主優待引当金	35,545	—
その他	62,529	72,175
流動負債合計	605,566	538,941
固定負債		
長期借入金	5,929,399	6,546,252
長期預り敷金保証金	104,413	104,334
その他	56,474	47,698
固定負債合計	6,090,286	6,698,285
負債合計	6,695,853	7,237,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,848,568	2,848,568
資本剰余金	536,915	509,047
利益剰余金	△124,788	168,896
自己株式	△2,835	△2,949
株主資本合計	3,257,859	3,523,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30,464	△17,628
その他の包括利益累計額合計	△30,464	△17,628
新株予約権	12,617	13,433
純資産合計	3,240,012	3,519,368
負債純資産合計	9,935,865	10,756,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	1,361,892	1,446,173
売上原価	558,064	694,509
売上総利益	803,827	751,664
販売費及び一般管理費	869,103	686,758
営業利益又は営業損失(△)	△65,276	64,905
営業外収益		
受取利息	7	6
為替差益	115	454
その他	2,155	7,951
営業外収益合計	2,278	8,412
営業外費用		
支払利息	37,616	69,323
支払手数料	11,399	7,110
その他	6,438	8,479
営業外費用合計	55,454	84,913
経常損失(△)	△118,451	△11,595
特別利益		
投資有価証券売却益	37,119	315,356
その他	—	19
特別利益合計	37,119	315,375
特別損失		
投資有価証券評価損	13,000	—
特別損失合計	13,000	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△94,333	303,780
法人税、住民税及び事業税	5,630	10,389
法人税等調整額	273	△294
法人税等合計	5,903	10,095
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△100,236	293,685
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△100,236	293,685



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△100,236	293,685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,219	12,836
その他の包括利益合計	2,219	12,836
四半期包括利益	△98,017	306,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△98,017	306,521

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント・バンキング事業	オペレーション事業			
売上高					
外部顧客への売上高	349,500	1,012,392	1,361,892	—	1,361,892
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	349,500	1,012,392	1,361,892	—	1,361,892
セグメント利益	19,232	27,111	46,344	△111,620	△65,276

(注) 1. セグメント利益の調整額△111,620千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント・バンキング事業	オペレーション事業			
売上高					
外部顧客への売上高	592,147	854,026	1,446,173	—	1,446,173
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	592,147	854,026	1,446,173	—	1,446,173
セグメント利益	181,554	10,223	191,778	△126,873	64,905

(注) 1. セグメント利益の調整額△126,873千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。